

平成27年度 夢の樹みどり 事業実績報告書

1 はじめに

夢の樹みどりは、平成23年度以降利用定員を超過した状態が続いており、平成28年3月31日時点で利用者数は49名となった。近隣の特別支援学校卒業生や相談支援センターからの紹介など、可能な限り利用希望者の受入れを行なってきたが、現在の活動スペースなどから考えると50名までの受入れが一定ラインだと見込んでいる。

27年度は多様化するニーズに迅速且つ丁寧に対応するため、26年度に引き続きケース担当制を行い、個別支援計画の作成、ケース検討および個別面談を担当職員間で行うように取り組んだ。このことにより、多くの職員が相談業務に関わるようになり、事業所内における利用者個々のニーズや現状の聴取が進んだほか、ケースをとおして地域の社会資源の状況などを習得する機会を得、個々の職員のスキルアップにもつながった。一方で課題の整理や解決に向けた取り組みについては不十分となり、今後の課題である。

また、企業就労を希望する2名についてはバウムでの体験実習を行い、28年度就労に向けたステップアップに結びつけることが出来た。生活支援のニーズの高い利用者については夢風船との連携での対応を計画していたが、就労継続支援B型の事業目的と実際の支援現場の求められるニーズとの乖離が顕在化するなか、根本的な取り組みが必要という結論に達し、事業再編で対応するということとした。

もう一つの重点目標であった職員の作業技術の向上および作業コーディネート能力の養成については、屋内外の各作業における現場リーダー2名の育成を行い、各現場においてリーダー的存在として役割を果たしつつある。また、職員全体で定期的に封筒作業や焼き鳥作業の練習会を実施し、作業速度や正確性の向上に繋がった。新規採用職員には他事業所の実地研修や採用時研修を実施した他、法制度、地域資源の状況、経理などの基本事項について学習会を行った。職員の育成については個々のレベルで向上が見られたが、情報伝達や共有、業務の連携において円滑に行われない場面が多々あり、チーム支援としてのレベルにおいては大きな課題が残った。情報共有と職員間の連携強化が28年度以降の大きな課題となる。

2 事業主体

- 1) 施設名 夢の樹みどり
- 2) 事業種別 就労継続支援B型
- 3) 所在地 東京都小平市大沼町2-1-3
- 4) 運営主体 社会福祉法人 未来
- 5) 利用定員 40人
- 6) 利用現員 49人(平成28年3月31日現在)
- 7) 法人認可年月日 平成14年12月11日
- 8) 事業開始年月日 平成22年4月1日
- 9) 職員 16名(平成28年3月31日現在)

- 3 基本理念 一人ひとりの自己実現の支援。
互いの尊厳の尊重と信頼関係の構築。
安心と希望の持てる生活。

4 利用者支援

- 1) 就労支援
 - (1) 基本方針に対する評価
 - ① 利用者個々の特性にあった作業の保障

- ② 生き生きと働ける職場
- ③ 職業指導の充実
- ④ 賃金の保障
- ⑤ 就労移行支援との連携

朝礼や昼礼で利用者の希望を聴取し、できる限り希望に沿った作業提供を行なうよう努めたが、希望が重なることや、納期との兼ね合いなどで必ずしも希望通りにならない場面も多くあった。しかし、多くの利用者が安定して作業に従事できており、継続作業によってスキルの向上が見られた。

職業においては、一人の利用者に集中的に一つの作業技術の習得を支援し、作業参加の機会が増えた例があったが、職員態勢の状況により見守り支援が行なえないことで、職業訓練が出来ない場面も多く見られ、不十分であった。

資源回収量の増加により、工賃は月額平均14,560円となり、26年度の13,840円と比較して720円増となった。

就労ステップアップについては、就労支援センターの企業内訓練事業に4名が延べ90日参加し、3名に就労意識の向上が見られた。その他将来一般就労を希望する2名がバウムにて実習を行ない、平成28年度よりバウムへ異動することが決まった。

(2) 作業別計画に対する評価

- ① 室内作業—多様な作業種を準備し、いろいろな作業の体験を通して可能性の発掘を試みると共に、丁寧な作業指導を行う。

定期的に受注していた封筒作業量が減少したが、新たにダイレクトメール1社を受注することで全体の作業量は維持されたほか、作業種が増えたことで、利用者の選択肢が広がった。ただし、一つひとつの単価が低く収益の増加に繋げることができなかった。職員体制の不足と納期の優先から作業指導は不十分であった。

(26年度 1,604,884円 27年度 1,608,360円 差額 3,476円)

- ② 資源回収—作業担当職員を増員し、計画的且つ継続的に新規回収先の開拓を行うことにより、回収量を増加させる。

回収先が16箇所増え、約200箇所となった。回収担当職員を増員し対応した結果、回収量及び収入が増加した。

(26年度 6,695,404円 27年度 6,805,694円 差額 110,290円)

- ③ 清掃—作業マニュアルの活用や職員の引き継ぎを徹底し、確実な作業に取り組む。

作業マニュアルの活用や作業日誌による引き継ぎ等を徹底した結果、年間通して安定的に公園の美化を保つことができた。

(26年度 655,596円 27年度 606,096円 差額 49,500円)

- ④ 緑化推進事業—作業マニュアルの活用や職員の引き継ぎを徹底し、確実な作業に取り組む。

作業マニュアルの活用や作業日誌による引き継ぎ等を徹底した結果、年間通して安定的に花壇の保全を行うことができた。

(26年度 400,000円 27年度 400,000円 差額 0円)

(3) 作業種目

- ① 事務封筒作成
- ② 資源回収
- ③ 焼き鳥の串刺し
- ④ 空き缶つぶし
- ⑤ ダイレクトメール封入・封緘
- ⑥ 紙袋の底板入れ
- ⑦ その他受注作業
- ⑧ 緑化推進事業
- ⑨ 清掃

2) 生活支援

(1) 基本方針に対する評価

- ① 日中活動の保障
- ② 豊かな生活の支援
- ③ 利用者一人ひとりの主体的な生活の支援
- ④ 個別支援計画に基づいた計画的な支援
- ⑤ 利用者への相談支援
- ⑥ 安心できる将来への支援

利用者の多くが安定して通所できており、日中活動の保障については役割を果たしている。また夕方生活支援への参加者やガイドヘルプを利用している方も増えており、利用者一人ひとりの生活の幅は広がってきていると感じている。

また、多様化するニーズへの対応のため、26年度に引き続きケース担当制によって利用者および家族を含めた三者面談を実施した。相談は本人よりも家族からの割合が多く、将来の生活に関する相談も増えてきている。27年度は将来の生活に対する希望等の聴取で終わったが、今後継続して面談を実施していくことで、将来の生活イメージの共有を行っていききたい。

また、現在の生活においても就労から生活までそのニーズの幅は広がってきているが、ケース担当制によってニーズの聴取や支援計画の作成、実行が丁寧且つ迅速に行うことが出来た。多くの職員がケースに直接関わることで実践的に相談場面を経験しスキルアップにつながった一方、職員間での情報共有が不十分になることも多く見られた。また、経験の浅い職員が本人や家族との連絡調整をする場面が増えたことから、課題の整理が不十分であるほか、正確に状況把握が行われていない場面も見られた。情報共有と職員の相談支援能力の向上、標準化が今後の課題である。

(2) 生活支援プログラム

① 運動プログラム

継続的かつ定期的に週3回の運動プログラム、週1回の体重測定を行なった。また、年3回支援者のオリエンテーションを開催し、支援時の利用者の状況や各支援者の工夫の様子等の確認を行なうことで、情報伝達・情報共有を図ることができた。個別の支援計画についても適時見直しを行なうなど、プログラムの充実化に取り組んだ。体重減少など数値面での効果は現れてきており、定期的な運動が健康面に与える影響は少なからずあると考えている。また、今年度より活動日誌の記録と万歩計の使用を本格的に開始した。これらを導入したことで利用者の活動内容を把握しやすくなり、支援者オリエンテーションなどを通じて一人ひとりの特徴や課題の共有化が図れた。今後はこれらの記録を活用してプログラムの質の向上を図っていききたい。

- ② 運動以外のプログラム
個別面談を通して、運動プログラム以外の要望等はなく、実施しなかった。

(3) 福利厚生

- ① 月1回レクリエーションを実施。
② 月2回音楽教室を実施。(7月、10月に開催された合同発表会に参加)
③ 10月に1泊旅行を実施。(新潟県津南方面)
④ 4月に健康診断を実施。

5 開所状況

1) 開所期間 自 平成27年4月1日 至 平成28年3月31日

2) 開所日数

- (1) 週開所日数 5日間
(2) 開所時間 午前9時～午後4時
(3) 年間延開所日数 244日間
(4) 平均作業時間 4時間

6 利用状況

- (1) 利用者延人員 10,354人
(2) 1日平均利用人員 42.6人
(3) 体験実習者延人員 134人
(4) 1日平均実習人員 0.5人
(5) 実習者実人員 10人

7 利用者状況(平成28年3月31日現在)

1) 年齢

- 20歳未満 4名
20歳以上30歳未満 22名
30歳以上40歳未満 16名
40歳以上50歳未満 5名
50歳以上60歳未満 0名
60歳以上70歳未満 2名
70歳以上 0名

2) 障害の状況

- 愛の手帳2度 23名 (内身障手帳所持 2名)
愛の手帳3度 17名 (内身障手帳所持 2名)
愛の手帳4度 8名 (内身障手帳所持 2名)
身体障害者手帳1級 4名 (内愛の手帳所持 4名)
身体障害者手帳2級 1名 (内愛の手帳所持 1名)
身体障害者手帳5級 1名 (内愛の手帳所持 1名)
精神保健手帳2級 1名

3) 通所手段

- 送迎車利用 22名 (内1名交通機関、4名家族送迎と併用)
交通機関利用 14名 (内1名送迎車両と併用)
徒歩等 11名
家族送迎 7名 (内4名送迎車両と併用)

4) 居住状況

管内居住 41名 管外居住 8名

5) 性別

男性 40名 女性 9名

8 利用者工賃

平均工賃 1人 月額 : 14,560円
日給 : 860円
時給 : 235円

9 企業内清掃実習状況

1) 参加者 4名 (男性 2名 女性 2名)

2) 延実施回数 : 85回

延参加人数 : 90名

月別内訳

4月 : 14回 ・ 14名
5月 : 12回 ・ 12名
6月 : 12回 ・ 12名
7月 : 8回 ・ 8名
8月 : 7回 ・ 7名
9月 : 9回 ・ 9名
10月 : 11回 ・ 11名
11月 : 9回 ・ 9名
12月 : 8回 ・ 8名
1月 : 8回 ・ 8名
2月 : 8回 ・ 8名
3月 : 10回 ・ 10名

10 職員配置 (平成28年3月31日現在)

- ・管理者 1名 (常勤換算1.0)
- ・サービス管理責任者 1名 (常勤換算1.0)
- ・職業指導員 4名 (常勤4名 : 常勤換算4.0)
- ・生活支援員 10名 (常勤4名、非常勤6名 : 常勤換算7.4)
- ・目標工賃達成指導員 1名 (非常勤 : 常勤換算1.0)

合計 管理者 1名(常勤換算 : 1.0)
サービス管理者兼務 1名(常勤換算 : 1.0)
職員 15名(常勤換算 : 12.4)

11 防災

災害時避難訓練を年3回実施した。